資料４－１

本市の地域公共交通の取り組み

◆ 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正ポイント

H19年制定
- 地域公共交通総合連携計画の策定
- 市町村が主体となって協議会を設置
- 地域公共交通の維持確保と利便性向上

H26年改正
- 地域公共交通網形成計画の策定
- 公共交通ネットワークの再構築
- まちづくりとの連携　等

R 2年改正
- 地域公共交通計画の策定
- 観光振興等の地域戦略との一体性確保
- 地域旅客運送サービスの持続可能な提供
- 地域特性に応じた多様な交通の組合せ　等

◆ 高知市地域公共交通計画

高知市地域公共交通総合連携計画　（H23～H27） ►

事業１　総合的な公共交通ネットワークの形成
事業２　鉄道を活用した都市幹線の機能強化
事業３　交通結節点機能強化
事業４　都市内交通の形成
事業５　中山間地域の地域内交通の導入
事業６　田園地域の地域交通の導入
事業７　公共交通のバリアフリー化の推進
事業８　パークアンドライド・サイクルアンドライドの推進
事業９　多様化するニーズに即した公共交通の確立と利用促進
事業10　環境負荷の少ない公共交通への利用転換の推進
事業11　分かりやすい公共交通情報の提供

高知市地域公共交通網形成計画　（H28～R2, R3）

事業１　地域公共交通体系の形成
事業２　バス路線の再編
事業３　鉄道を活用した広域幹線の機能強化
事業４　中央バスターミナル機能の強化
事業５　乗り換えポイントの整備
事業６　春野の地域な交通の導入
事業７　重倉・久礼野の地域内交通の導入
事業８　行川の地域内交通の導入
事業９　御畳瀬・浦戸の地域内交通の導入
事業10　運行ダイヤ・運行便数・運賃等の見直し
事業11　サイクルアンドライドの推進
事業12　パークアンドライドの推進
事業13　バス路線の確保・維持
事業14　乗合タクシーの確保・維持
事業15　バス停・電停等の利用環境の改善
事業16　バス・電車車両の改善交通の導入
事業17　「ですか」による多様なサービス提供
事業18　わかりやすい情報サービスの提供
事業19　イベント等における広報活動

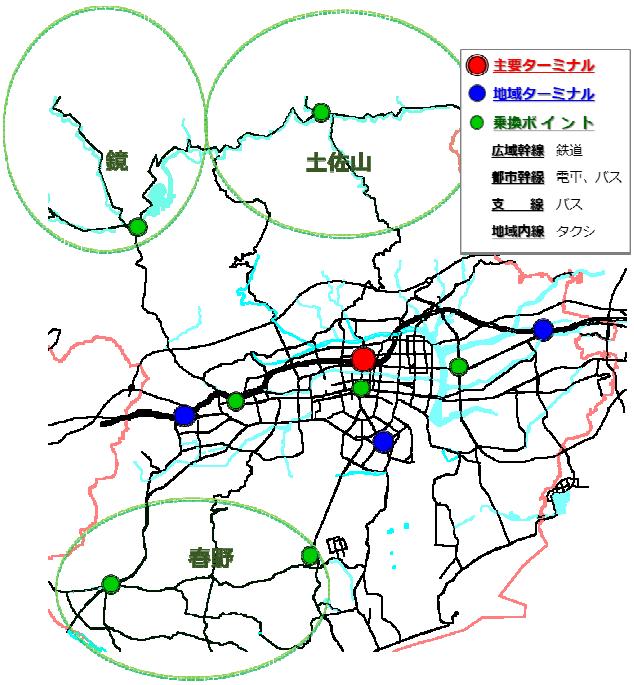
高知市地域公共交通総合連携計画

計画期間：５年間（H23～H27）

目　　的：　公共交通を活性化し、地域住民の需要に即した効率的で、持続可能な公共交通体系を構築する
基本方針：　市民とともに、人にやさしく、環境にやさしい交通の創造
対　　象：　公共交通

計画事業

1．総合的な公共交通ネットワークの形成
2．鉄道を活用した都市幹線の機能強化
3．交通結節点機能の強化
4．都市内交通の形成
5．中山間地域の地域内交通の導入
6．田園地域の地域内交通の導入
7．公共交通のバリアフリー化の推進
8．パークアンドライド・サイクルアンドライドの推進
9．多様化するニーズに即した公共交通の確立と利用促進
10．環境負荷の少ない公共交通への利用転換の推進
11．分かりやすい公共交通情報の提供



１．総合的な公共交通ネットワークの形成

◆ 地域コンセンサスの形成

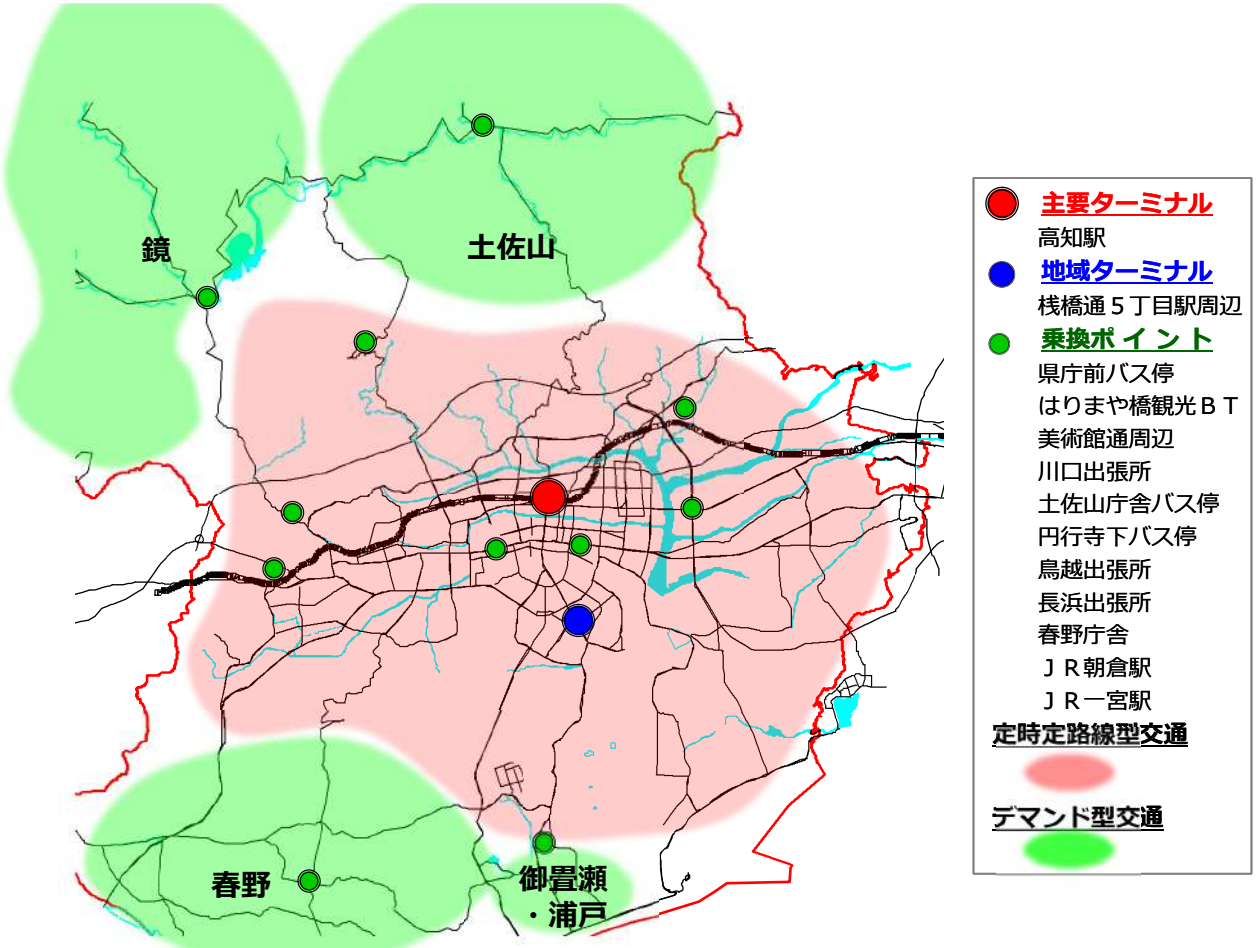
シンポジウムの開催やパンフレットの配布などの周知・啓発活動などにより、地域のコンセンサスの形成を図る。

◆ 協働の仕組みの確立

地区別や業種別、それらを横断した組織を設立するなど、「新しい公共」の概念や「共助」の視点に基づく協働の仕組みを確立する。

・現在のバス路線を基本とした系統を踏襲し、系統の基本形は郊外⇒中心部・中心部⇒郊外
・中心部の基点は、高知駅ＢＴ・県庁前・とさでん交通・はりまや橋観光ＢＴの４箇所
・現在の人の流れを重視し、系統は「はりまや橋交差点」を経由
・市内の公共交通は路線バスを基本
・路線バスの運行を維持することが極めて困難な地域は、デマンド型公共交通により補完

中心部	基本形　：放射型 運行形態：定時定路線運行 運行車両：路線バス
周辺部	基本形　：デマンド型 運行形態：定時定路線運行 運行車両：乗合タクシー
過疎地等	・隣接する市町を結ぶバス路線が運行しない地域 ・高齢化率、年少人口比率の進行が著しい地域 ・将来においても利用の増加が見込まれない地域



3．交通結節点機能の強化

◆ 地域ターミナルの整備

高知駅と地域をつなぐ交通結節点として、電車、バスなど複数の公共交通機関に乗り換えできる場所を選定する。地域ターミナルにふさわしい都市拠点整備とあわせて、交通結節点機能としての乗換施設の整備やインフォメーションなど案内施設の整備などを行う。

◆ 乗換ポイントの整備

公共交通機関の乗り換えに加え、公共施設や商業施設など快適性や利便性が確保できる場所を選定し、路線バスから路面電車に乗り換えができる交通結節点の施設整備と、快適に待合ができる待合空間を既存施設の活用や民間施設との連携により確保を図る。

◆中央バスターミナル設置の検討

○目的

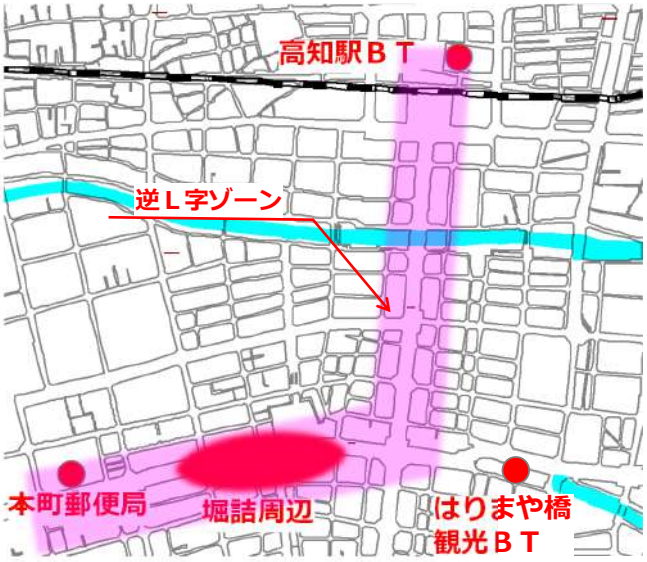
・利用者にとって、わかりやすく、使いやすいバス路線に再編する

○効果

・ターミナルを中心としたわかりやすい路線再編が可能
・ターミナルから全ての目的地に行くことが可能
・他の交通手段との結節点としてスムーズな乗り換えが可能
・交通の拠点となる交通空間と交流や集いの場となる環境空間を配置する

○設計条件

・必要面積　4,000㎡以上
・設計車両　乗合バス（路線バス）のみ
・設計便数　730便／日、81便／時



■中央バスターミナル設置の検討

中間報告

		① 高知駅ＢＴ	② 掘詰周辺 （下段：暫定整備）	③ はりまや橋 観光ＢＴ	④ 本町郵便局
コストと時間	機能性（面　積）	3,600㎡	3,300㎡	3,200㎡	**1,500㎡**
	経済性（建設費）	不要	**20億円** **（10億円）**	不要	6億円 （用地・補償のみ）
	速達性（工　期）	1年	約4年	1年	**5～6年**
	立地の確実性	確実	**不確実**	確実	不確実
	交通結節性	最適	適	非適	適
利用者の目線	バス便数/日 利用数/月	370便 8,000人	560便 30,000人	**220便** **1,000人**	330便 16,000人
	バス停からの距離	駅10m	堀詰50m 堺町80m	八幡通10m 菜園場210m	大橋通10m 高知城130m
	電車便数/日 利用数/月	280便 19,000人	440便 49,000人	440便 10,000人	440便 39,000人
	電停からの距離	駅前 80m	堀詰 30m はりまや橋120m	**ﾃﾞﾝﾃﾂT 270m** **菜園場 200m**	大橋通100m 高知城120m
	安全性（交通機能）	信号有 右左折可	信号有 右左折可	信号有 出入り制限有	信号無 出入り制限有
	特記事項（JR利用/月）	約15,500人	⇦ JR四国調(H24年度実績)より※降車含まず 1日平均乗車数5,169人×30日＝155,070人		

※青字　最も良い
※赤字　最も悪い

本町郵便局は狭小面積のため以降は検討しない。他３案について引き続き検討。

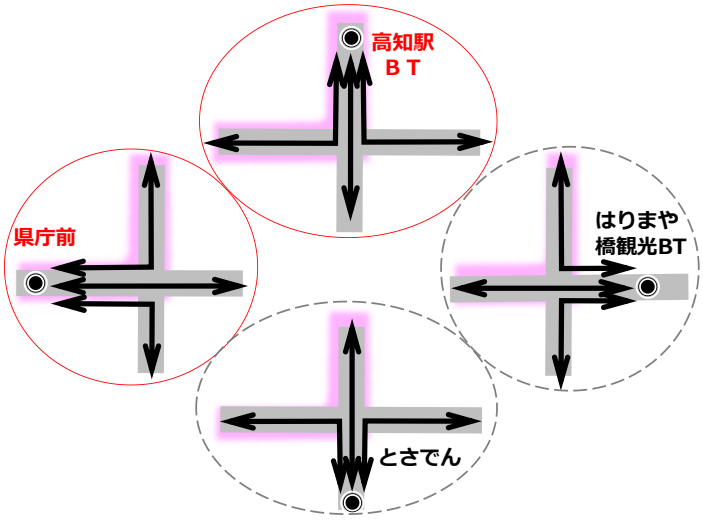
４．都市内交通の形成

◆ 都市幹線・都市循環線の形成

高知市都心部と隣接都市を結ぶ幹線、都心部と地域ターミナルを結ぶ幹線を都市幹線として路面電車を中心に、路線バスとともに合理的で効率的な都市内交通を形成する。

◆ 支線・地域内線の形成

地域ターミナルは、市外などからの交通を集約し、都心・既成市街地ゾーンへと導く交通結節点機能を担うことから、市外や周辺地域から地域ターミナルを結ぶ支線・地域内線の形成を図る。



４つの基点をハブ拠点としてターミナル機能を確保

プラス型ネットワーク

プラス１ ◎大規模なターミナルが不要

４つの拠点で囲む「分散型」により、中央ターミナルとしての機能を確保することで、大規模なターミナルが不要となる

プラス２ ◎乗換が少ない

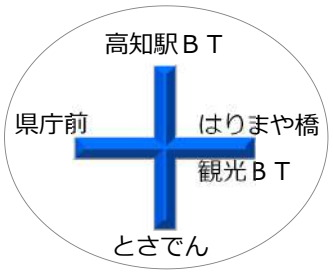
利用の多い逆Ｌ字ゾーンを通過するため大多数の方は乗り換えなく目的地へ行くことができる

プラス３ ◎分かりやすい

現在の運行形態を維持した形で、「放射型」のネットワークを構築することができる
また、中央部の起終点は原則この4点になるため、利用者にとって分かりやすいものとなる

プラス４ ◎定時性の確保

逆Ｌ字ゾーンを通過する系統として、ロング系統を分けることが可能であれば、運行距離を短くできるため定時性の確保が容易となる



逆Ｌ字ゾーンを中心としたプラス型ネットワークを基本形として路線再編

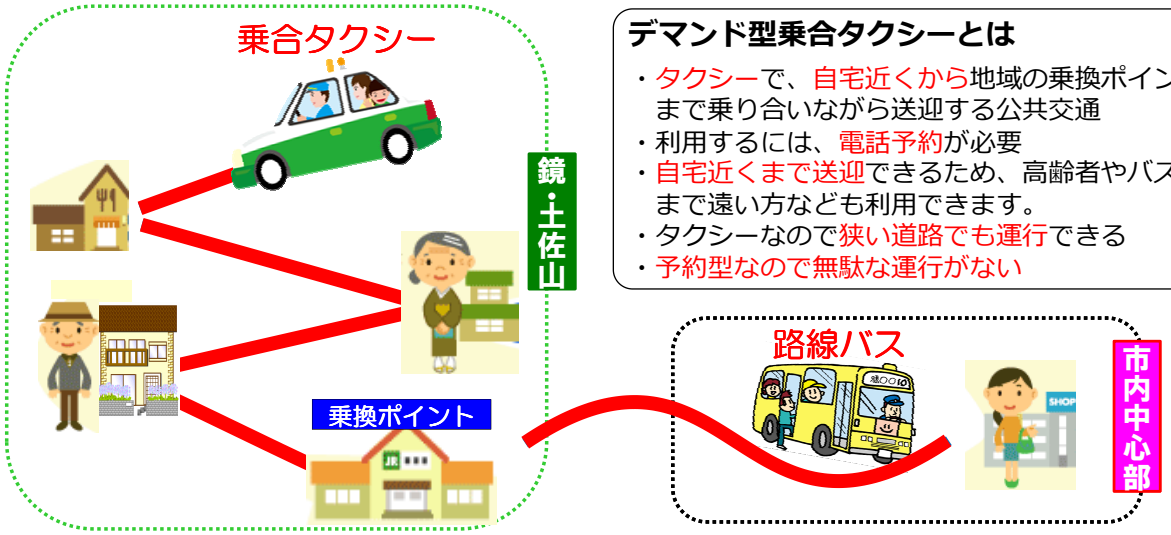
５．中山間地域（鏡・土佐山）の地域内交通の導入

◆ 地域交通を考える場を設置・運営

地域で考える場を設置し、地域住民と協働した運営を行う。また、新たな地域交通の実証運行においては、運行内容の周知や利用促進などを実施し、地域への定着を促す。

◆ 地域ニーズに即した地域交通の導入

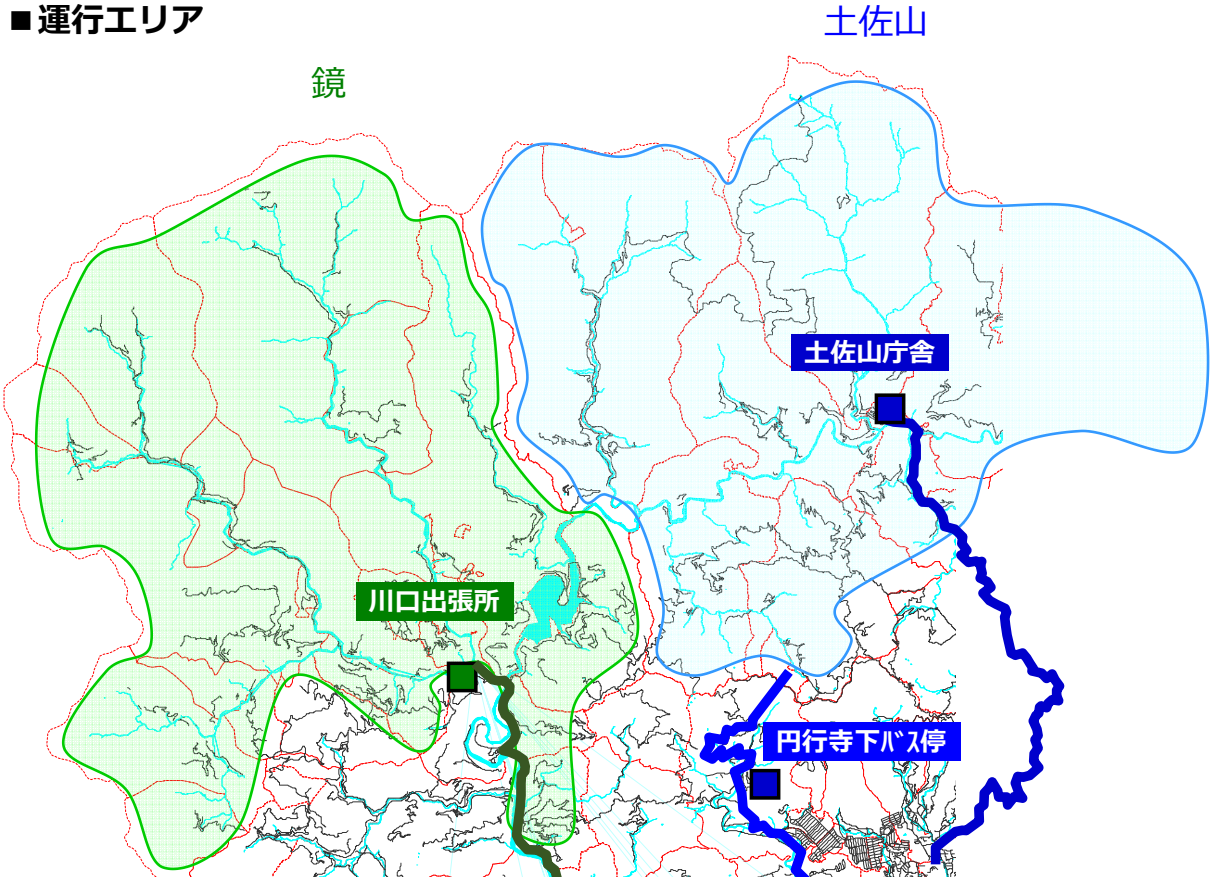
住民、事業者、行政が協働し、効率的で持続可能な地域交通の構築を図る。地域内の公共施設等を乗換ポイントに設定し、公共交通体系の支線として廃止路線代替バスを位置づけるとともに、新たな地域交通の実証運行を実施する。小規模な需要に対応でき、できる限り利用者の自宅近くまで運行する利用しやすい乗合交通を導入する。



デマンド型乗合タクシーとは

- タクシーで、自宅近くから地域の乗換ポイントまで乗り合いながら送迎する公共交通
- 利用するには、電話予約が必要
- 自宅近くまで送迎できるため、高齢者やバス停まで遠い方なども利用できます。
- タクシーなので狭い道路でも運行できる
- 予約型なので無駄な運行がない

■運行エリア



■運行概要

鏡		土佐山	
H25.10.1～	期　間	H25.10.1～	
区域運行・乗合・デマンド型	運行形態	区域運行・乗合・デマンド型	
鏡	営業区域	土佐山	
小型　４台	使用車両	小型　５台	
川口出張所	乗換ﾎﾟｲﾝﾄ	土佐山庁舎	円行寺下バス停
・鏡庁舎・郵便局 ・公民館・生活支援ﾊｳｽ	のりおりば	健康福祉ｾﾝﾀｰ へき地診療所	－
全域	運行ｴﾘｱ	全域	
月～土（日・祝・年末年始運休）	運 行 日	月～土（日・祝・年末年始運休）	
行き４便 帰り３便	運行便数	行き３便 帰り３便	行き２便 帰り２便
原則１人で乗り降りできる方	対 象 者	原則１人で乗り降りできる方	
・大　人300円 ・小学生150円	利用料金	・大　人300円 ・小学生150円	・大　人400円 ・小学生200円
電話・ＦＡＸ 7:00～16:30	予約方法 予約時間	電話・ＦＡＸ 7:00～16:30	

■鏡・土佐山地域デマンド型乗合タクシー導入の効果

廃止路線代替バス «定時定路線運行»

約30ｋ㎡

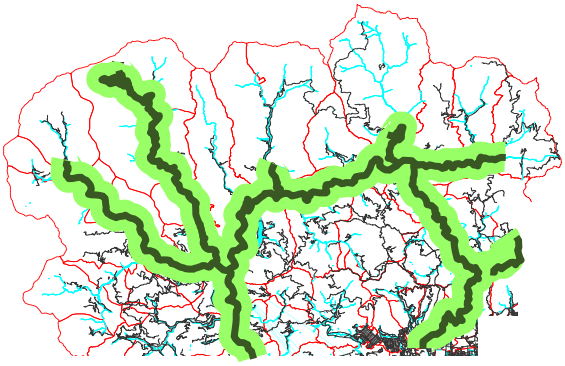
1.バスなので主要道路のみ運行
2.利用者はバス停で乗り降り
3.地域の中心までの運賃は
　200円から700円程度
4.利用がなくても毎日運行するため
　経費増加

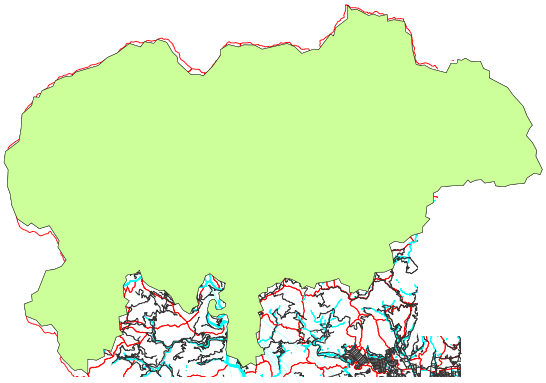
H24.10実証運行
H25.10本格運行

デマンド型乗合タクシー «区域運行»

約119ｋ㎡

1.タクシーなので集落内も運行
2.利用者は自宅前で乗り降り
3.距離に関係なく地域の中心までの
　運賃は一律300円
4.予約がない時は運行しないため
　経費削減





・自宅前で乗り降りできることや安価な運賃にしたことなどで利用が増加。
・予約がなければ運行しないため、運行費用が削減。
⇒　利用が極めて低く、高齢化率・少子化率が顕著な地域は「デマンド型」の効果が高い。

6．田園地域（春野）の地域内交通の導入

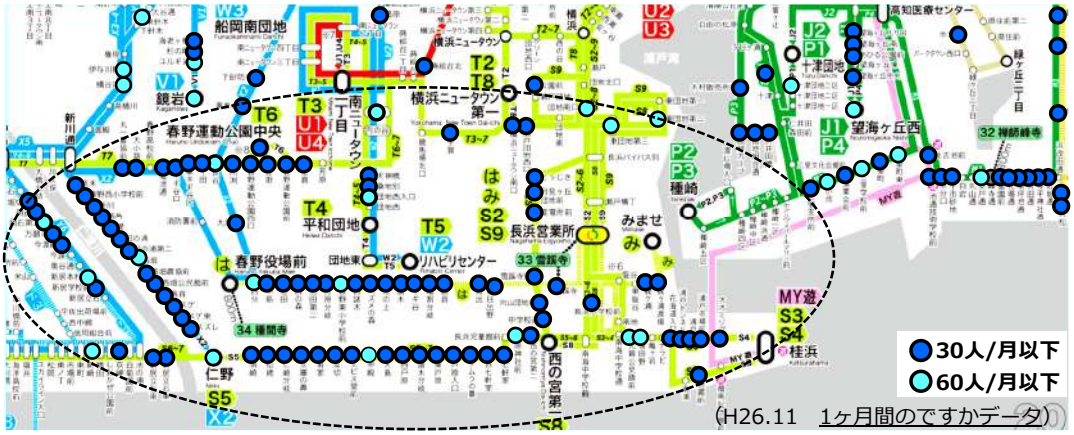
◆ 地域交通を考える場の設置・運営

路線バスの役割や公共交通空白地の解消を地域で考える場を設置し、地域住民と協働した運営を行う。また、新たな地域交通の実証運行においては、運行内容の周知や利用促進などを地域が連携して実施し、地域への定着を促す。

◆ 公共交通空白地・不便地を解消する地域交通の導入

住民、事業者、行政が協働し、効率的で持続可能な地域交通の構築を図る。公共施設や商業施設など生活利便機能を有するバス停を乗換ポイントに設定し、既存の都市幹線を活かすとともに、新たな地域交通の実証運行を実施する。公共交通空白地・不便地などを対象に、道路幅員の狭い地域にも対応できる乗合交通を導入する。

■春野地域等の現状《バス停の乗降数》



7．公共交通のバリアフリー化の推進

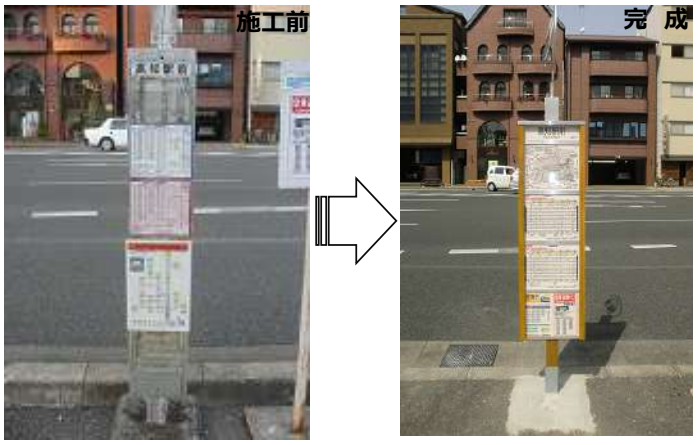
◆ 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の取組推進

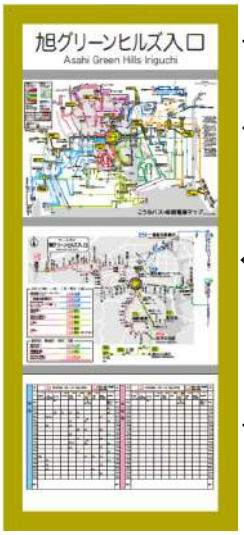
国の移動等円滑化の促進に関する基本方針で示された目標を達成するため、交通事業者が進めるバリアフリー化の取組と連携し、公共交通の利用環境の改善を進める。

◆ 鉄道駅・電停・バス停の利用環境の整備

鉄道駅・電停・バス停においては、ベンチ・上屋・照明等の設置を地域住民や民間の活力を導入する手法を検討し、整備を進める。また、案内の表示統一や文字の大型化など高齢者や障害者でも安心して利用できる環境を整備する。

■バス停を新しく見やすいものに改善





←バス停名

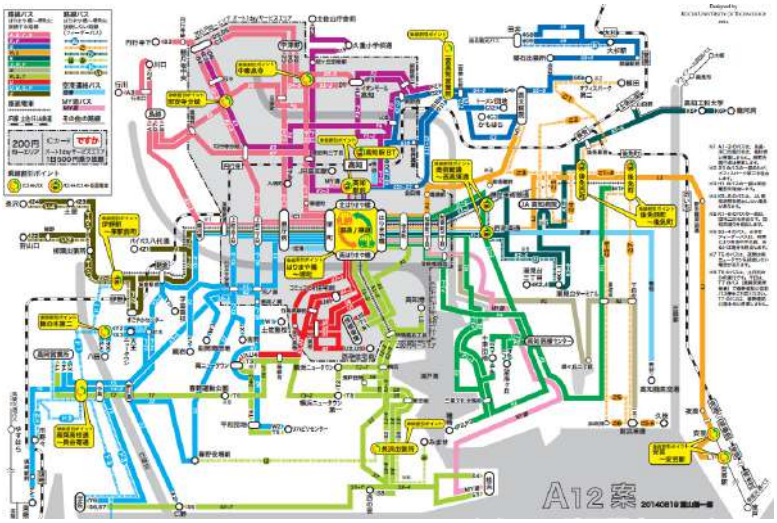
←全ての路線図

←バス停から出ている路線と現在地の表示

←バス停から出ている時刻表

■行先（系統）の番号化

複雑なバス路線を
アルファベット、色、数字
で整理することにより、
視覚的にわかりやすくなりました



■行先（系統）の番号化
－ 案内板 －

はりまや橋交差点の
8箇所に乗換案内板
を設置し、観光客など
地理に不馴れな方
にもわかりやすくなりました

8．パークアンドライド・サイクルアンドライドの推進

◆ パークアンドライドの推進

地域ターミナルや乗換ポイントを中心に、公共用地や商業施設などの駐車場を活用した整備を進める。また、既存施設については空き情報や利用利便性を広報することで、利用の向上を図る。

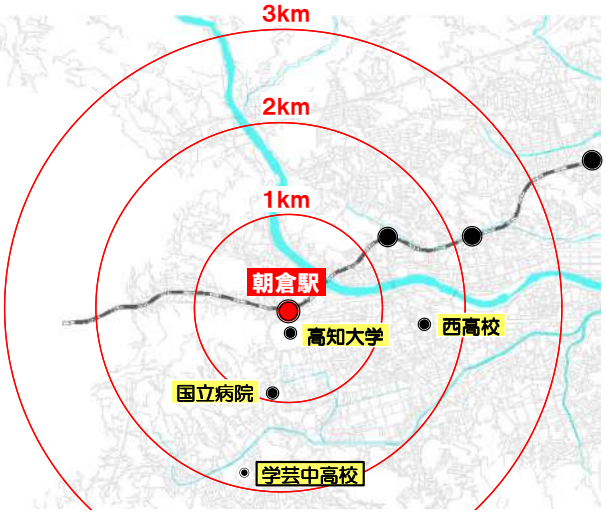
◆ サイクルアンドライドの推進

周辺市街地・田園地域ゾーンなどにおいて、鉄道駅・バス停から遠い市民の利用を促進するため、乗降客が多く、駐輪場の整備ができていない鉄道駅等について整備に努める。また、既存施設については空き情報の周知や利便性を広報することで、利用の向上を図る。

JR朝倉駅サイクルアンドライド駐輪場整備事業

乗車人員【一日平均】（平成24年度実績）

	普　通	定　期	計
高　知　駅	2,927	2,242	5,169人
朝　倉　駅	**259**	**665**	**924人**
旭　　駅	136	613	749人
土佐大津駅	73	382	455人
高知商業前駅	86	351	437人
入　明　駅	73	314	387人
土佐一宮駅	83	229	312人
円行寺口駅	87	211	298人
薊　野　駅	63	99	162人
布師田駅	17	50	67人



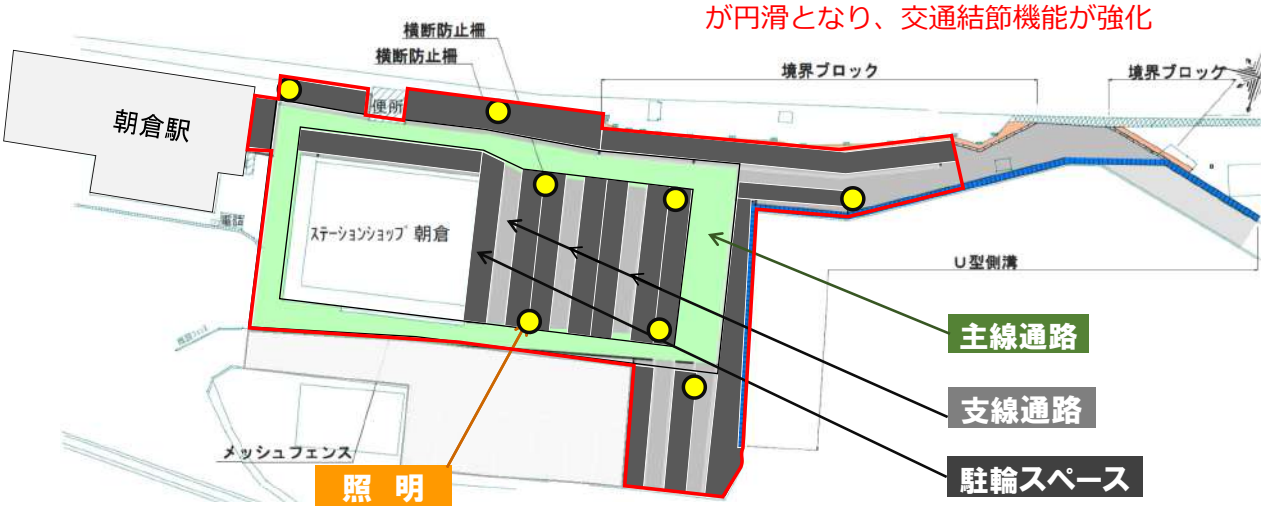
■JR朝倉駅サイクルアンドライド駐輪場整備事業 整備後の効果

概要

名　　称　：朝倉駅簡易駐輪場
面　　積　：920㎡
収容台数：425台
照明施設：　８基
事 業 費　：12,885,480 円

効果

・駐輪面積が１．９倍に拡大
・現在の駐輪台数全てが駐輪場に収容可能
・照明設置により夜間も安全に通行可
・As舗装と側溝設置により快適な通行となる
⇒　駅前広場の空間が確保されたことにより、自動車による送迎やタクシーでのアクセスが円滑となり、交通結節機能が強化



着手前

整備後

完成

整備後

整備後

９．多様化するニーズに即した公共交通の確立と利用促進

◆ 多様化する市民ニーズの把握とそれに即した多様な交通手段の確立

市民ニーズの把握と多様な交通手段の確立を図る。需要の少ない地域は交通手段を検討し、多様な交通手段の導入を図る。

◆ 高齢者の活動機会を確保する方策の整備

気軽に外出できる方策として「おでかけ電車65」「ナイスエイジ用ですかカード」などの優遇策を実施することで、高齢者の外出率の低下防止を図る。

◆ 利用促進策の推進

利用促進を呼びかける広報活動や、公共交通に親しむ機会を設けるイベント等を実施することを通じて、社会全体で公共交通を支えていく意識の醸成を図る。

■交通安全ひろばの実施

市が関係する市民団体などの会議において公共交通イベント情報などを提供し、
公共交通をＰＲして、広く住民に対して広報する

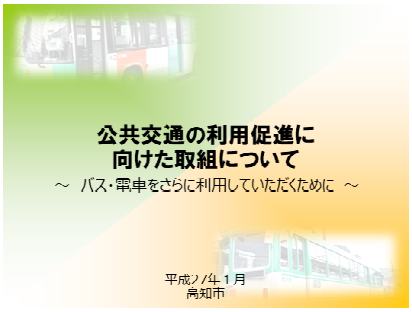
■ナイスエイジですかキャンペーン

「高知市高齢者公共交通利用促進事業（2,000円のナイスエイジですかカードが1,000円で購入できるキャンペーン）」を第2弾として平成27年度も継続して実施する

高知市公共交通政策検討会

公共交通をもっと多くの市民に利用してもらえるように高知市として全庁的に幅広く利用促進の取組を検討する

① 関係各課が実施できる利用促進に繋がる取組
② 交通事業者が取り組む利用促進策の提案



■職員のですかカード一斉申込

お得で簡単便利なですかカードの購入を庁内で一斉に呼びかけ、普及を促進する。
対象者　：全職員（臨時・非常勤職員含む）とその家族
申込期間：H27.4.20～H27.5.15
申込要件：記名式カード、申込金額2,000円～
申込特典：ですか社員が直接職場でカードの受け渡し

■市民図書館

「公共交通図書コーナー」を設置し、公共交通に関する図書の展示や貸出、利用促進に関するパンフレット等の設置や公共交通関連の写真の閲覧など、色々な情報発信をする

10．環境負荷の少ない公共交通への利用転換の推進

◆ 「高知市地球温暖化対策地域推進計画」との連携

ノーカーデーの啓発・実践や「環境にやさしいお買い物キャンペーン」など取組が進められているため、取り組み事業者と連携し、利用者に特典を付与することで利用促進を図る。

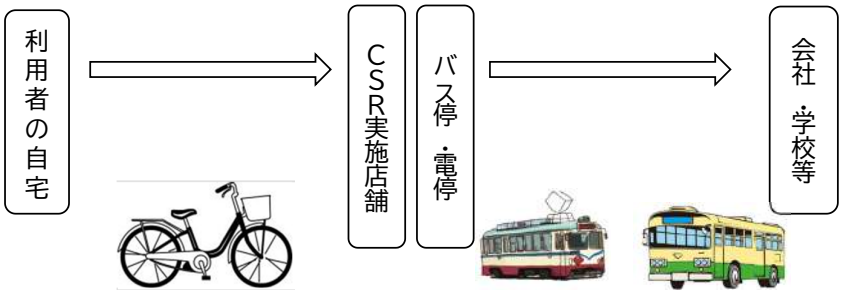
◆ 「ですかカード」の活用による利用機会の創出

ノーマイカーデイサービスなどの広報を拡大し、公共交通の利用機会を創出する。また、公共交通機関を乗り継ぐことによる料金抵抗を抑え、利用頻度を高めるため、乗継割引など「ですかカード」を活用した実証実験を実施する。

■量販店における小規模サイクルアンドライド

公共交通機関は、二酸化炭素（CO2）などの温室効果ガスの排出が少なく、自転車は走行中に温室効果ガスをまったく排出しない乗りものです。

これら２つの乗りものが連携する施策「サイクル＆ＳＨＯＰライド」は地球にやさしい「低炭素」な移動やライフスタイルに転換する仕組みです。



11．分かりやすい公共交通情報の提供

◆ 身近なバス停等における情報提供の改善

バス停等において、時刻表や路線図など情報を分かりやすく提供できるように改善する。

◆ 公共交通情報提供サービスの拡大

インターネットや携帯端末から見ることができる「アクセスこうち」を活用し広報することで利用を拡大する。また、公共交通マップなどを作成し、市民や来訪者に提供する。

■わかりやすい名称に変更

停留所名		バス停名称案
はりまや橋	→	北はりまや橋
岡	→	池田第二
学校前	→	波介小学校前
学校前	→	行川学校前
学校前	→	春野西小学校前
吉野	→	本山吉野
古市	→	波介川橋北詰
公園前	→	1号公園前
公民館前	→	片山公民館前
砂地	→	十市砂地
坂本橋	→	新別坂本橋
三ツ石	→	三ツ石通
枝川	→	上葛川
住宅前	→	福井住宅前
小学校前	→	朝倉小学校前
小学校前	→	片地小学校前
小学校前	→	春野東小学校前
小学校前	→	出来地小学校前
小川	→	大豊小川
小浜	→	鏡小浜
植田	→	龍河洞植田
新田	→	新田南

停留所名		バス停名称案
西の宮	→	西の宮第一
西の谷	→	西の谷第一
西谷	→	いづみ保育園前
西分	→	芸西西分
切抜	→	重倉上
川原田	→	宇津野川原田
船戸	→	天崎船戸
団地一区	→	十津団地一区
団地三区	→	十津団地三区
団地西口	→	グリーン団地西口
団地二区	→	十津団地二区
中山	→	重倉中山
中島	→	中島岡豊
中島	→	田井中島
長谷	→	土佐山長谷
長谷寄	→	長谷寄北
土居	→	土居前浜
土橋	→	池の内第二
灘	→	東灘
農協前	→	朝倉農協前
農協前	→	久礼田農協前
八幡通	→	長岡八幡通

■路線バスマップ

高知市地域公共交通網形成計画

計画期間： 5 年間（H28～H32）

■**目　　的**：高知市が中心となり、まちづくりの観点を踏まえた将来にわたって持続可能な
地域公共交通網を構築する
■**基本方針**：市民とともに公共交通を守り・育て・支え合うにぎわいあふれる交通ネットワークの構築
■**計画対象**：公共交通全般

■**計画事業**

1．地域公共交通体系の形成
2．バス路線の再編
3．鉄道を活用した広域幹線の機能強化
4．中央バスターミナルの機能強化
5．乗り換えポイントの整備
6．春野の地域内交通の導入
7．重倉・久礼野の地域内交通の導入
8．行川の地域内交通の導入
9．御畳瀬・浦戸の地域内交通の導入
10．運行ダイヤ・運行便数・運賃の見直し
11．サイクルアンドライドの推進
12．パークアンドライドの推進
13．バス路線の確保・維持
14．乗合タクシーの確保・維持
15．バス停・電停等の利用環境の改善
16．バス・電車車両の改善交通の導入
17．「ですか」による多様なサービス提供
18．わかりやすい情報サービスの提供
19．イベント等における広報活動

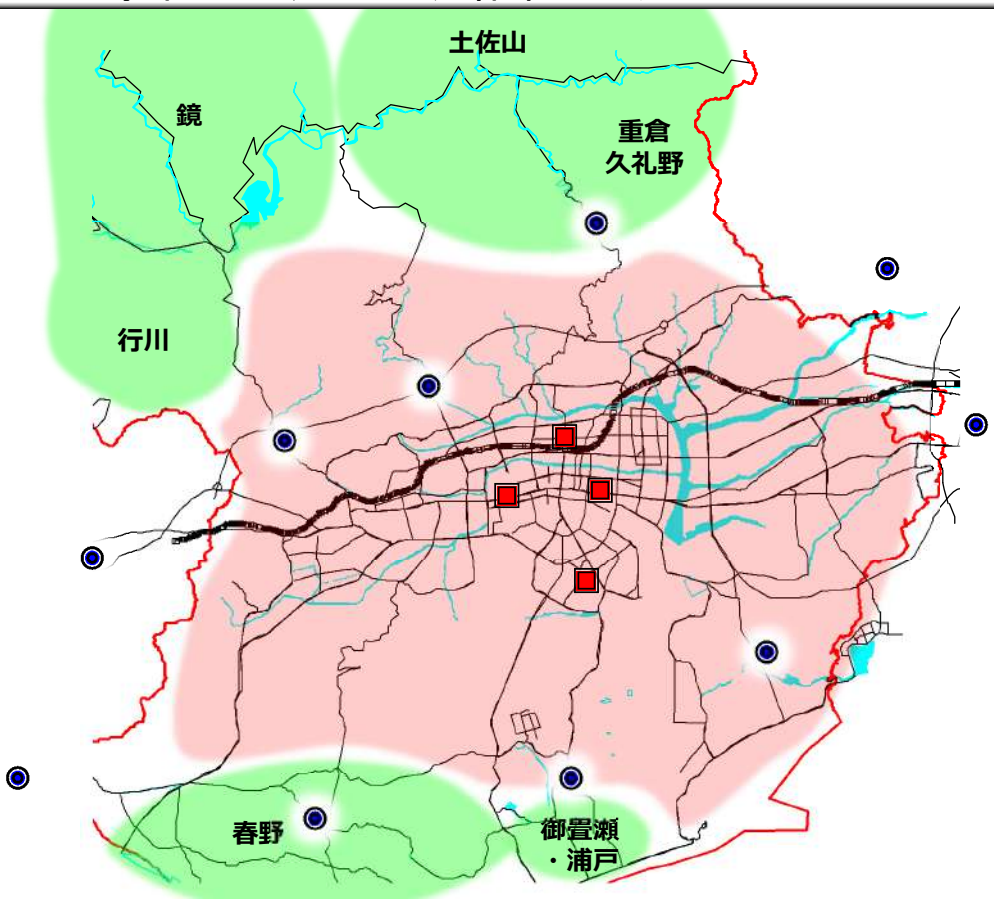
事業1　地域公共交通体系の形成

過疎地・周辺部

デマンド運行
乗合タクシー

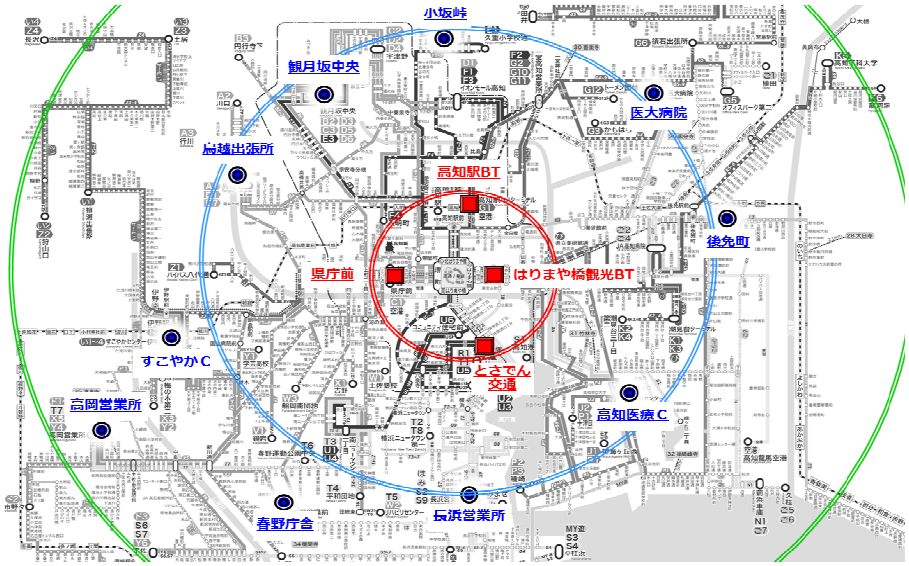
中央部・周辺部

定時運行
路線バス



事業2 バス路線の再編

	H25.10	H26.10	H27.10	H28.10	H29.10	H30.10	R1.10	R2.10
系統数	190	192	180	123	89	89	85	81系統
走行キロ/年	534	487	451	429	383	362	332万	326万km
回/日	468	407	390	382	318	306	298	299便



支線バス
路線型バス
乗合タクシー

郊外

基幹バス
路線型バス
循環型バス

中心

基幹バス
路線型バス
循環型バス

郊外

支線バス
路線型バス
乗合タクシー

■バス路線再編の基本的な考え方

現状及び課題

1 約200路線あり、20km以上の長い路線が多い
2 はりやま橋中心の複雑な路線網で、路線の95%が通過
3 朝夕の利用が多く、昼と休日の利用は少ない
4 利用者が年々減少し、運行補助金が増加

■市民・利用者の意見

1 バス路線が複雑で行き先がわかりにくい
2 JR・電車と比べ、バスは定時運行が難しい

基本的な考え方

・まちのにぎわいづくり
・シンプルでわかりやすく
・現行バス路線や人の流れを重視

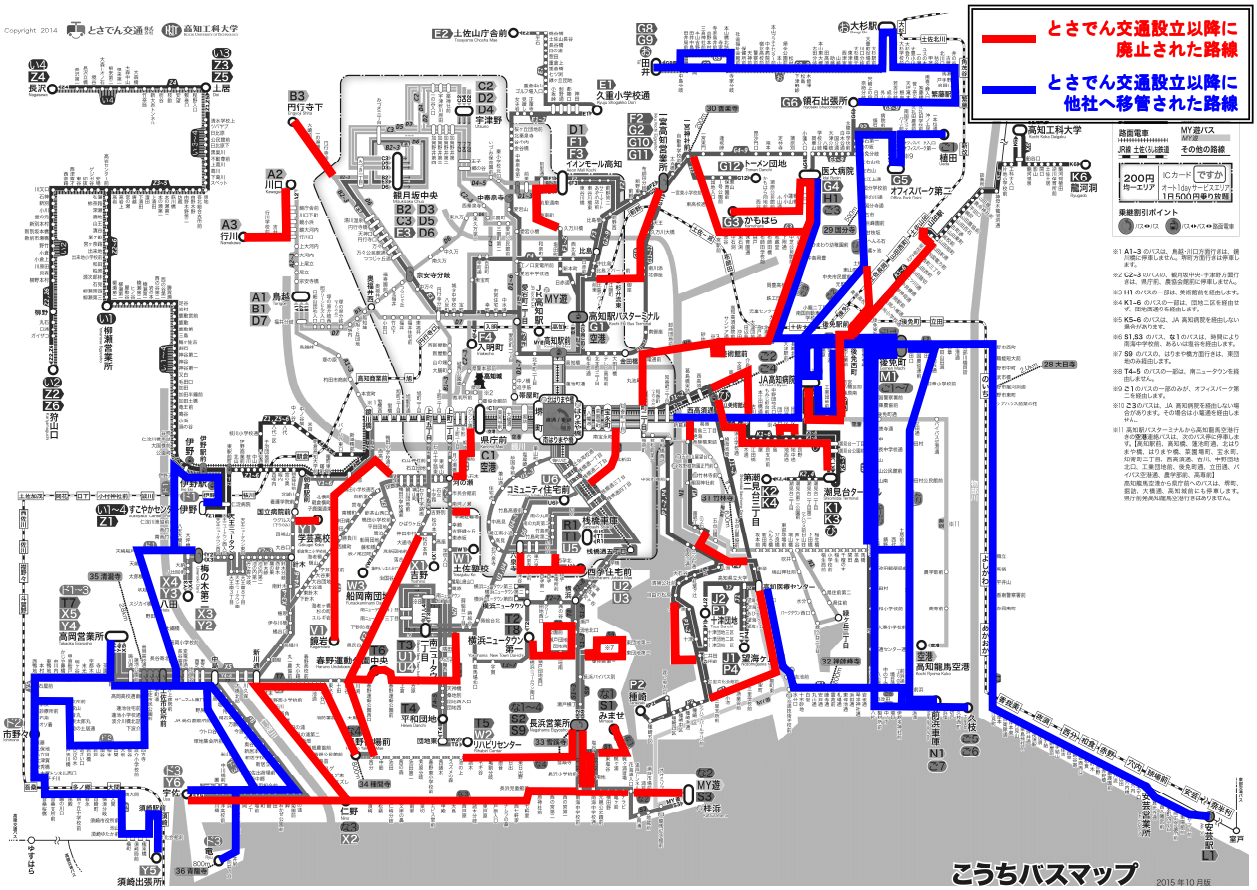
めざすべき路線網

・中心部は、分散型ターミナル機能を活用した路線網
・中心部から郊外部の「基幹バス」と、郊外部から
外縁部の「支線バス」に分割して運行

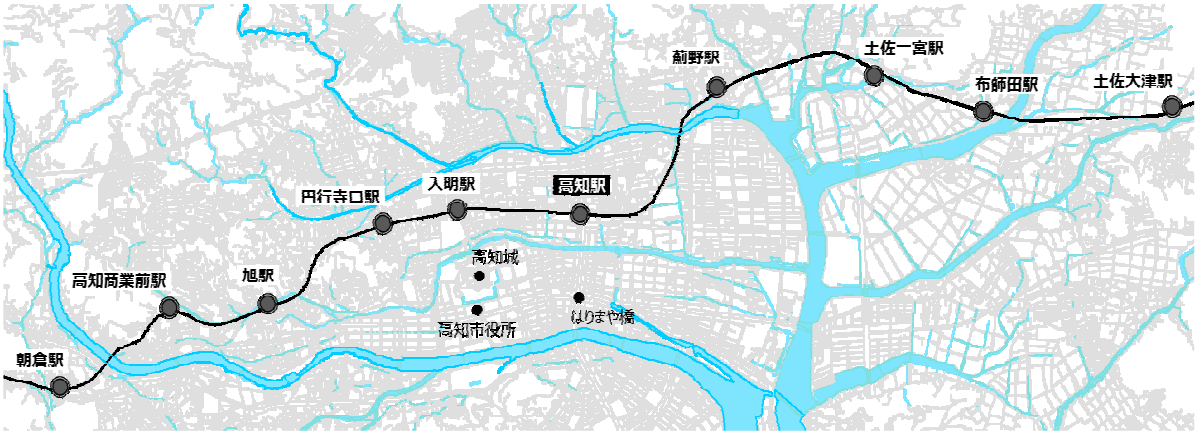
検討項目

1 利用者ニーズ
・ですかデータ
・アンケート
・乗降調査
2 採算性
3 補助金制度
4 起点・終点
5 道路状況
6 運行回数
7 運行ダイヤ
8 運賃
9 乗務員
10 車両
11 バス停
12 人口分布・構成

広域系統：複数市町村にまたがる系統　→　高知県（地域交通協議会で協議）
市内系統：高知市内で起点・終点ともに完結する系統　→　高知市（地域公共交通会議で協議）
市外系統：高知市外で起点・終点ともに完結する系統　→　他の自治体



事業3　鉄道を活用した広域幹線の機能強化



駅別乗車人員/日

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
土佐大津	356	351	383	411	379	370	387	418	455	500	457	442	433	425	414
布師田	82	80	68	66	75	66	66	62	67	68	65	72	78	85	92
土佐一宮	349	327	325	328	344	331	322	310	312	318	310	366	360	358	354
安芸	138	136	137	156	150	137	130	151	162	171	169	177	175	173	184
高知	5,200	5,146	5,059	5,077	5,236	5,002	5,121	5,088	5,169	5,287	5,105	5,207	5,176	5,174	5,270
入明	308	289	296	326	350	328	342	348	387	468	459	481	468	478	467
円行寺口	285	289	275	276	298	257	266	287	298	273	249	242	255	259	278
旭	725	716	715	773	749	749	749	758	749	733	688	693	692	686	719
高知商業前	418	419	414	402	419	402	434	416	437	471	485	554	563	547	532
朝倉	851	831	839	833	835	877	870	894	924	937	917	965	920	916	910
合　計	8,712	8,584	8,511	8,648	8,835	8,519	8,687	8,732	8,960	9,226	8,904	9,199	9,120	9,101	9,220

事業4　中央バスターミナル機能の強化

基本的な考え方

・まちのにぎわいづくり
・シンプルでわかりやすく
・現行バス路線や人の流れを重視

めざすべき路線網

・中心部は分散型ﾀｰﾐﾅﾙ(ﾌﾟﾗｽ型ﾈｯﾄﾜｰｸ)を形成
・中心部～郊外部を「基幹バス」
・郊外部～外縁部を「支線バス」により運行

プラス型ネットワーク

効果１　大規模なターミナルが不要
４拠点を活用することで、中央ターミナル機能が確保され、大規模なターミナル用地が不要となる

効果２　まちのにぎわい
４拠点で系統を分割することで、乗り換えが生じるため、中心市街地の活性化や観光振興に寄与する

効果３　わかりやすい
現在の路線網の形態を変えないため、利用者にとってわかりやすくなじみやすい路線となる

効果４　定時性の確保
４拠点で系統を分割することで、運行距離を短くでき、定時性が確保される

プラス型４拠点を中心部のバス発着点

事業5　乗換ポイントの整備

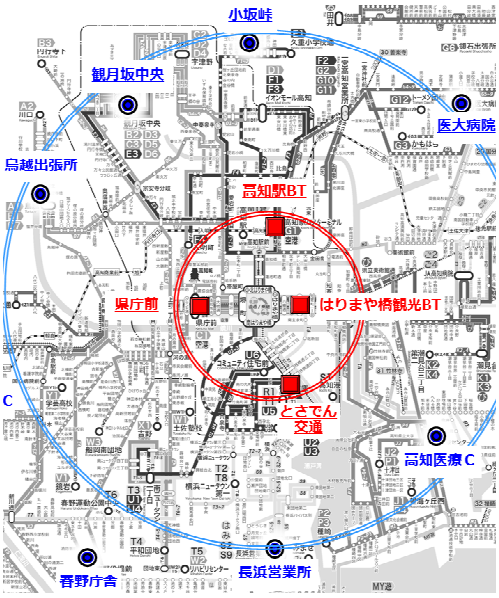
1.小坂峠バス停
2.観月坂中央バス停
3.鳥越バス停
4.春野庁舎前バス停
5.長浜バス停
6.高知医療センターバス停
7.医大病院バス停
8.後免町バス停
9.高岡営業所
10.すこやかセンターバス停

福井分岐

1小坂峠

2観月坂中央

3鳥越

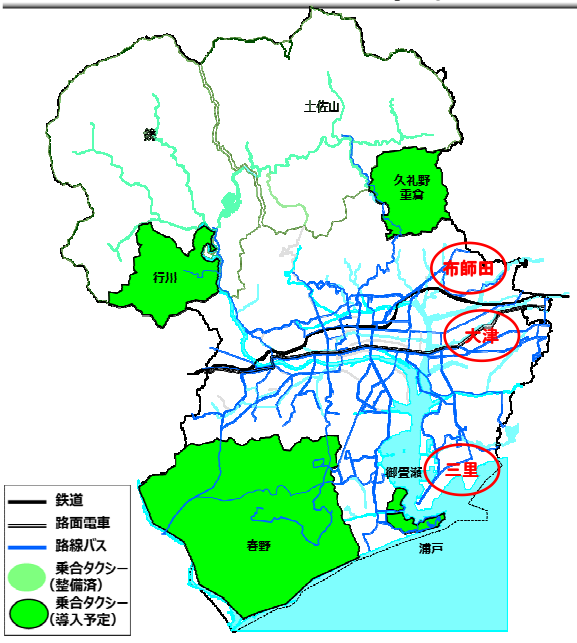


4春野庁舎

5長浜

6医療センター

事業6～9　地域内交通の導入

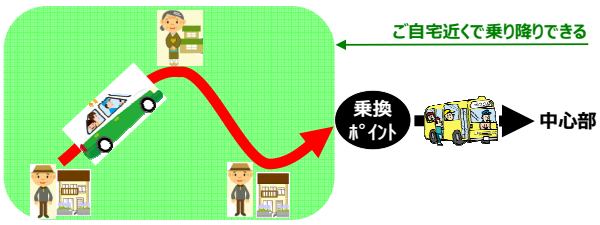


■**高齢人口比率**

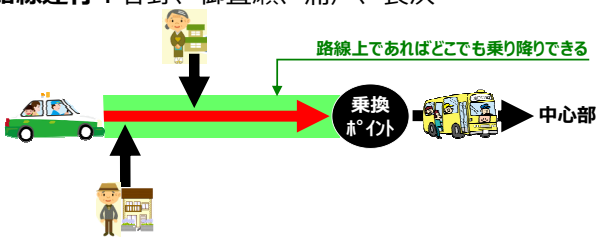
1.鏡	38.5%
2.土佐山	38.6%
3.行川	40.0%
4.久礼野	32.7%
5.重倉	32.5%
6.春野（南ヶ丘除く）	38.3%
7.御畳瀬	60.2%
8.浦戸	45.1%

（平成27年４月時点）

■**エリア運行**：鏡、土佐山、行川、久重



■**路線運行**：春野、御畳瀬、浦戸、長浜

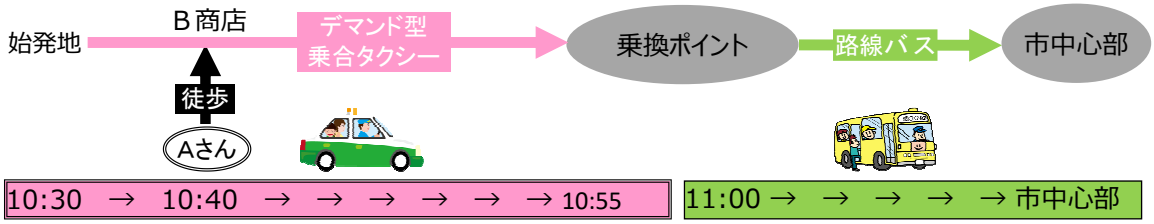


■**ネットワークの設定方針**

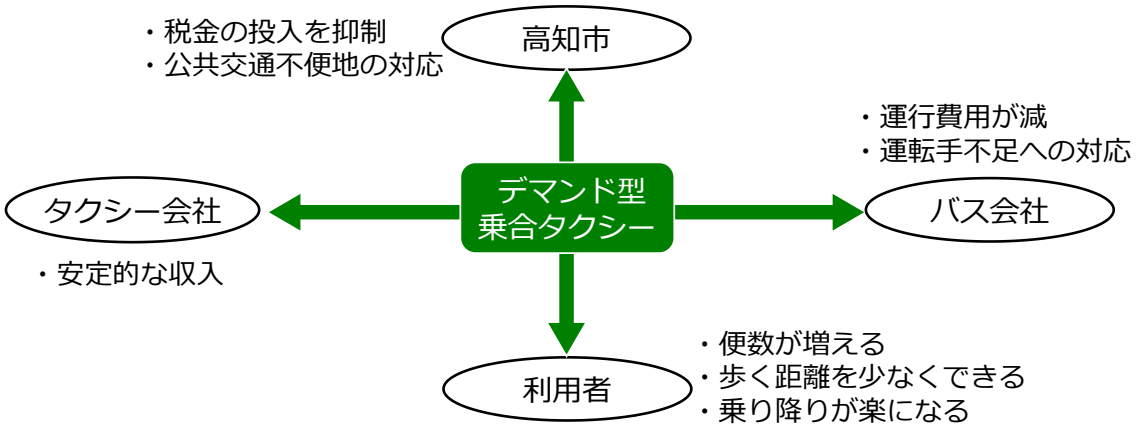
乗合タクシー導入地域：市街化調整区域
都市計画区域外
バス利用が極端に少ない地域
地域住民の合意が図られた地域

◆デマンド型乗合タクシーの特徴

・バスのように決められた時間に走ります。
・バスと違うのは、事前予約が必要なことと車両がタクシーになることです。
・予約のない場合、その便のタクシーは運行しません。



◆導入の効果



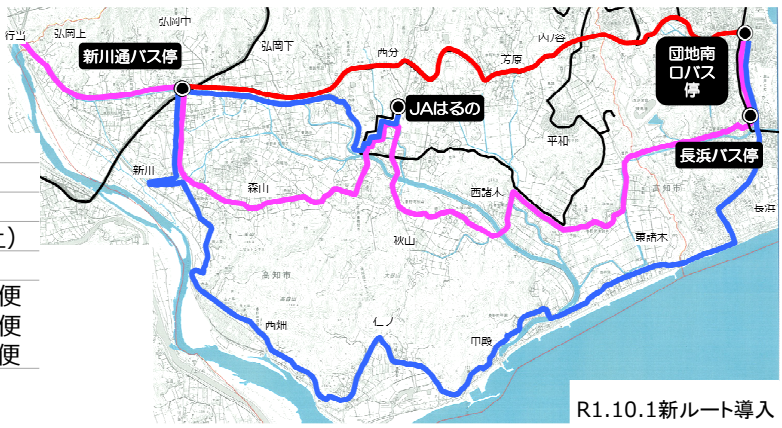
事業6　春野の地域内交通の導入

■平成28年9月まで

形　態	路線運行
運行日	毎日
車　両	バス
乗　降	バス停制
運　賃	大人　400～530円
便　数	仁ノ⇔ナムラの鼻⇔長浜：８便/８便 仁ノ⇔新川通⇔春野庁舎：２便/２便 春野庁舎⇔長浜営業所：５便/５便

■平成28年10月　実証運行
平成29年10月　本格運行
令和元年10月　一部変更

形　態	路線運行、予約型
運行日	毎日
車　両	タクシー（小型）
乗　降	フリー乗降（春野・長浜の路線上）
運　賃	大人　300円
便　数	はるちゃん号 北ルート：８便/８便 はるちゃん号 南ルート：８便/８便 しおかぜ号　　：８便/８便
乗換ﾎﾟｲﾝﾄ	新川通・春野庁舎・長浜 JAはるの・団地南口



事業7　重倉･久礼野の地域内交通の導入

■平成30年10月から新規導入

路線バス	
形　態	路線運行
運行日	毎日
車　両	バス
乗　降	バス停制
便　数	９便/９便

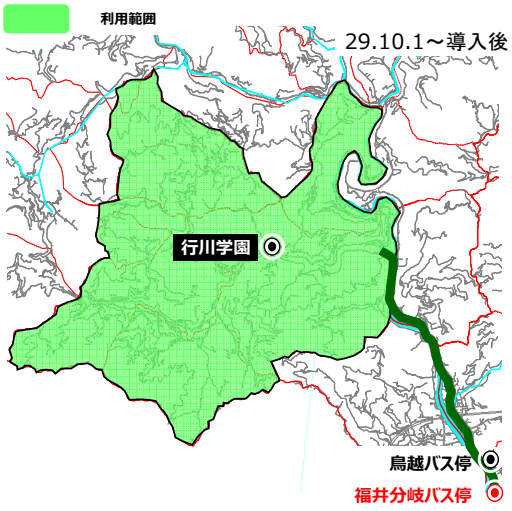
路線バス	
形　態	路線運行
運行日	毎日
車　両	バス
乗　降	バス停制
便　数	９便/９便

乗合タクシー	
形　態	エリア運行、予約型
運行日	毎日
車　両	タクシー（小型）
乗　降	自宅近く･久重小
便　数	４便/４便
運　賃	大人　200円
乗換ﾎﾟｲﾝﾄ	小坂峠

事業8　行川の地域内交通の導入

■平成29年９月まで

■平成29年10月から



形　態	路線運行
運行日	毎日
車　両	バス
乗　降	バス停制
運　賃	大人　300円
便　数	２便/２便

形　態	エリア運行、予約型
運行日	毎日
車　両	タクシー（小型・特大）
乗　降	自宅・行川学園
運　賃	大人　300円
便　数	４便/４便
乗換ﾎﾟｲﾝﾄ	鳥越・福井分岐

特認校の運賃無料化について

○特認校へデマンド型乗合タクシーを使って校区外通学する生徒の運賃を無料化

高知市の特認校

第四小学校，第六小学校，**久重小学校，行川学園，浦戸小学校，土佐山学舎**

■負担比較例（行川学園）

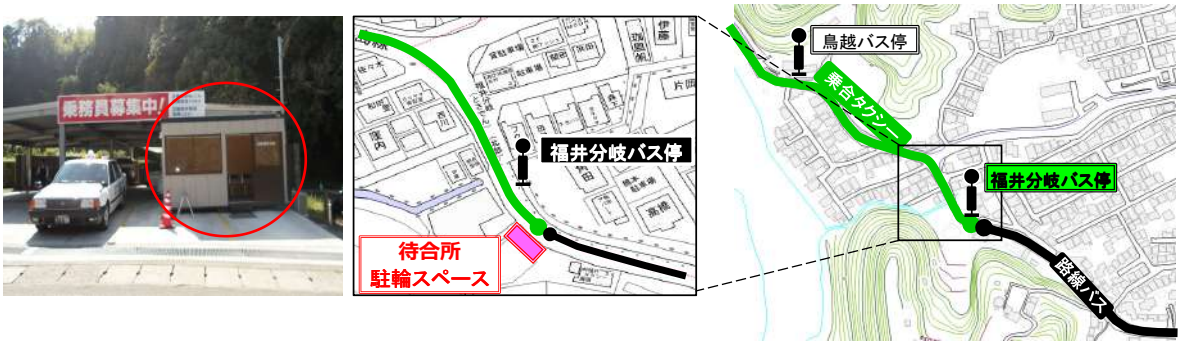
平成29年９月まで　行川学園 ―― 高知駅　16.5km／45分／610円

平成29年10月から　行川学園 ―― 福井分岐 ―― 高知駅　5.1km／10分／**無料**　7km／21分／380円

無料化の効果

保護者	通学費の負担軽減
学　校	生徒増の期待
高知市	事務手続の一本化

■乗合タクシー待合所・駐輪スペースの整備（行川学園）



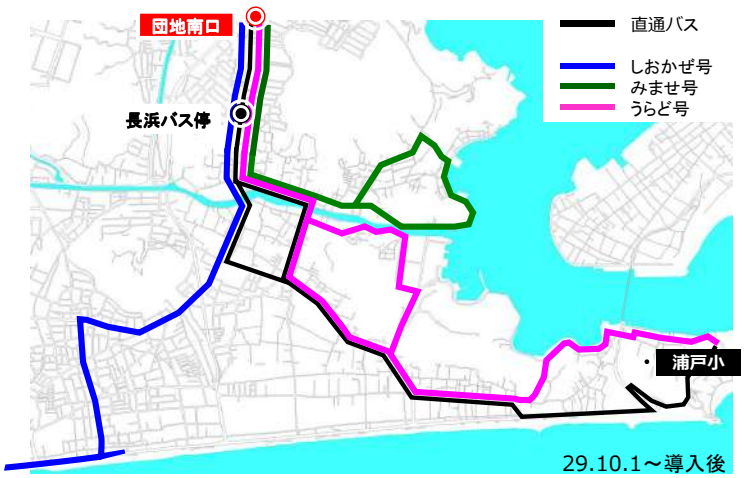
事業９　御畳瀬・浦戸の地域内交通の導入

■平成29年9月まで

形　態	路線運行
運行日	毎日
車　両	バス
乗　降	バス停制
運　賃	大人　140～380円
便　数	長浜線　：７便/７便 みませ線：10便/９便 浦戸線　：４便/５便
乗換ﾎﾟｲﾝﾄ	長浜

■平成29年10月から

形　態	路線運行、予約型
運行日	毎日
車　両	タクシー（小型）
乗　降	フリー乗降
運　賃	大人　200円
便　数	しおかぜ号：　８便/　８便 みませ号　：10便/10便 うらど号　：　６便/　６便
乗換ﾎﾟｲﾝﾄ	長浜・団地南口



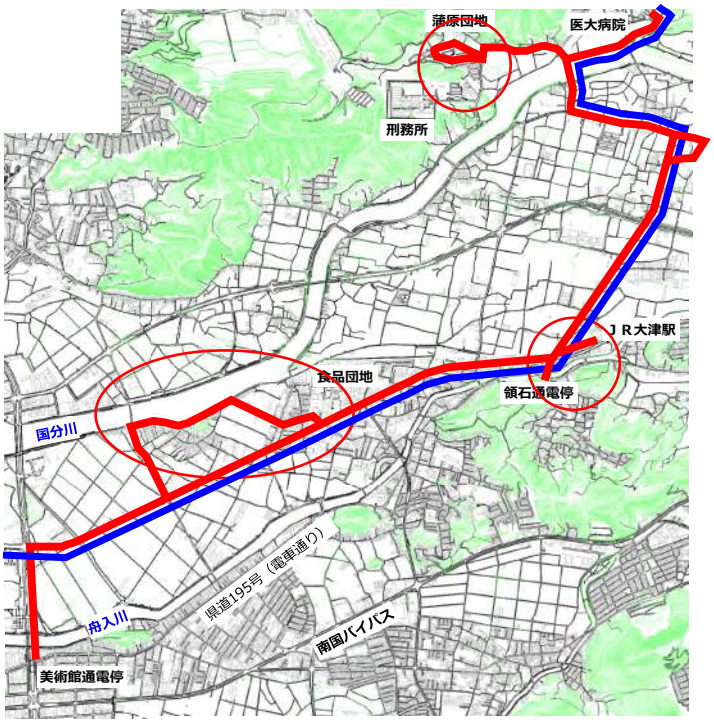
布師田の地域内交通の導入

◆乗合タクシー導入（平成30年10月～）

形　態	予約型・路線運行
運行日	毎日（予約がなければ運休）
車　両	タクシー（セダン型・ジャンボ）
乗　降	フリー乗降（路線上どこでも乗降）
運　賃	高知－高知　200円 高知－南国　300円 南国－南国　200円 未就学児無料，その他運賃割引あり
便　数	平日　４便 / ４便 土日祝　４便 / ４便
予　約	電話・ファクス
乗換ﾎﾟｲﾝﾄ	医大病院・一宮BT
運行事業者	有限会社第二さくら交通

大津の地域内交通の導入

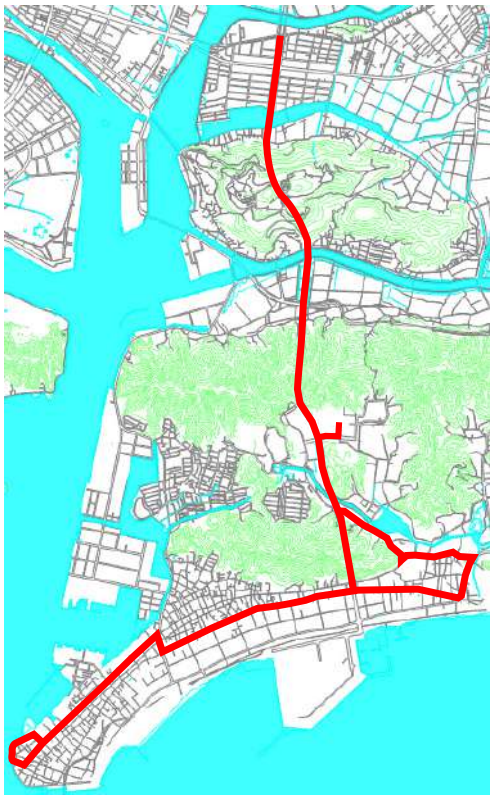
◆乗合タクシー導入（平成30年10月～）



	路線バス		乗合タクシー
形　態	路線運行		予約型・路線運行
運行日	毎日		毎日 (予約がなければ運休)
車　両	バス		タクシー (セダン型・ジャンボ)
乗　降	バス停		フリー乗降
運　賃	大 人 140円～260円	＋	高知－高知　200円 高知－南国　300円 南国－南国　200円 未就学児無料 その他運賃割引あり
便　数	平日４便 / ４便 土日祝は運休		平日　４便 / ４便 土日祝　４便 / ４便
予　約	－		電話・ファクス
乗換 ﾎﾟｲﾝﾄ	－		医大病院 美術館通バス停・電停 領石通電停
運行 事業者	とさでん交通 株式会社		有限会社 第二さくら交通

三里の地域内交通の導入

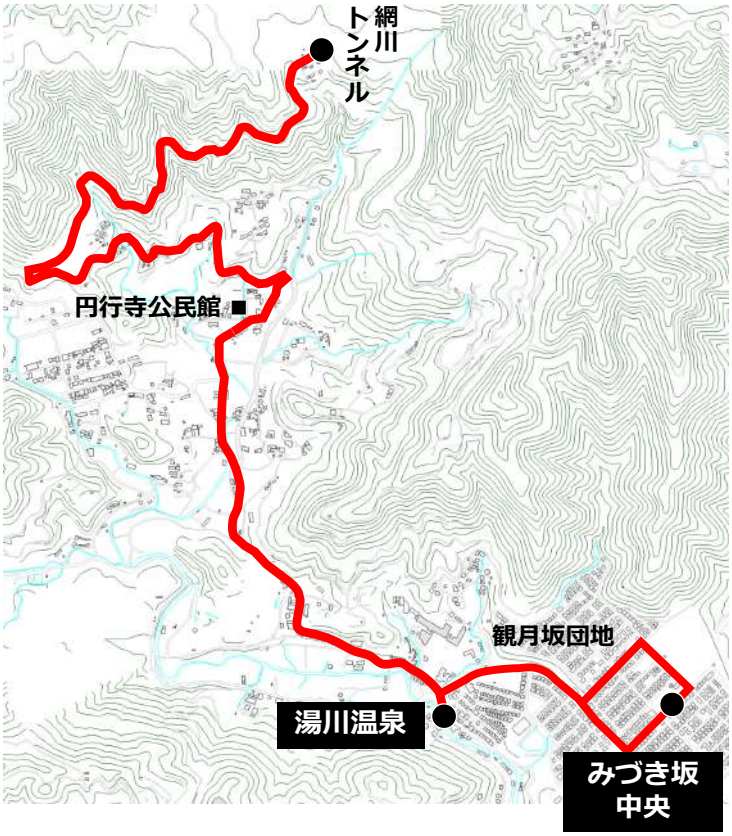
◆乗合タクシー導入（平成30年10月～）



形　態	予約型・路線運行
運行日	毎日（予約がなければ運休）
車　両	タクシー（セダン型・ジャンボ）
乗　降	フリー乗降（路線上どこでも乗降）
運　賃	種崎 － 医療センター　200円 医療センター ー 美術館通　200円 種崎 ー 美術館通　300円 未就学児無料，その他運賃割引あり
便　数	平日　10便 / 10便 土日祝　10便 / 10便 未就学児無料，その他運賃割引あり
予　約	電話・ファクス
乗換ﾎﾟｲﾝﾄ	高知医療センター 美術館通電停・バス停
運行事業者	有限会社第二さくら交通

円行寺の地域内交通の導入

◆乗合タクシー導入（平成29年10月～）

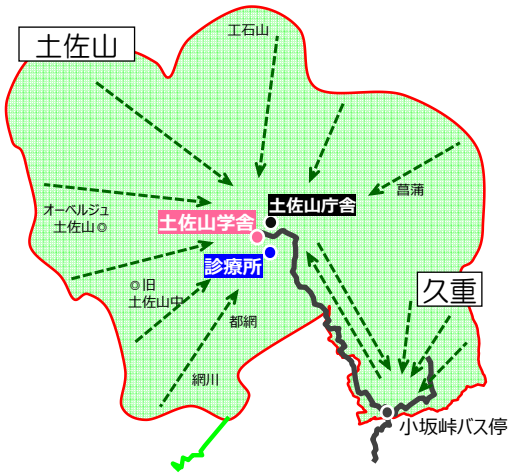


運行態様	路線運行（デマンド型）
運行区域	円行寺の一部
運 行 日	毎日 （予約がなければ運休）
使用車両	セダン型タクシー（小型）
乗降場所	フリー乗降 （路線上どこでも乗降可能）
運　賃	大 人　100円 小学生　50円 未就学児　無　料 その他運賃割引あり
予約方法	電話・ファクス
乗換ﾎﾟｲﾝﾄ	みづき坂中央バス停 湯川温泉バス停
便　数	平日　４便 / ４便 土日祝　４便 / ４便
運行事業者	有限会社第二さくら交通

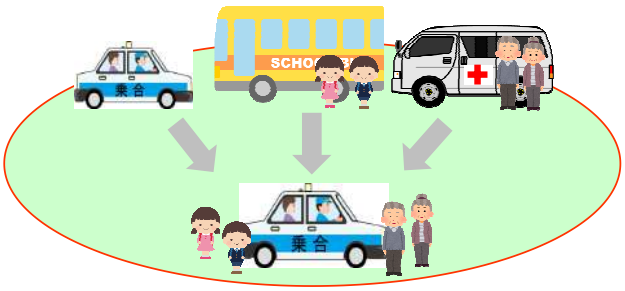
土佐山・久重（中山間地域）の移動手段の一元化

■概要 ◎移動手段（デマンドタクシー、スクールバス、へき地診療所送迎バス）を一元化。
◎交通利便性向上につなげるとともに、事業費や事務処理等を削減。
◎久重から土佐山の各施設へデマンドタクシーで運行可能。
◎タクシー会社が土佐山営業所を新設し、さらに効率的な運行となる。

■効果 ①利便性の向上
予約締切時間の緩和や増便
②事業費の削減
デマンド　迎車・回送費の減額
教育・医療　委託業務費の削減
③教育・医療の交通環境の拡充
自宅近くから学校や診療所へ送迎
④地域の活性化
地域のにぎわいや外出機会の創出
移住定住に寄与
⑤交通事故の防止
高齢者の運転免許返納の促進



H30.10.1一元化



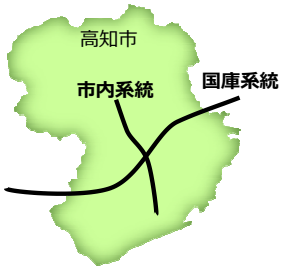
事業10　運行ﾀﾞｲﾔ・運行便数・運賃等の見直し

■適正便数の見直し

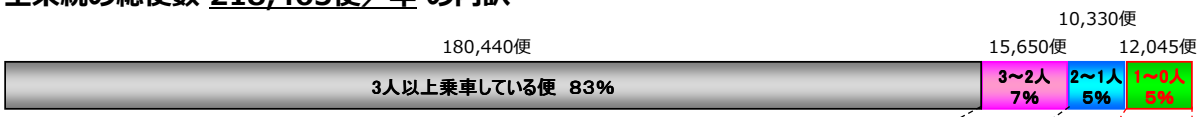
国庫系統 ： 国県及び沿線市町村補助で運行する系統

市内系統 ： 高知市単独補助で運行する系統

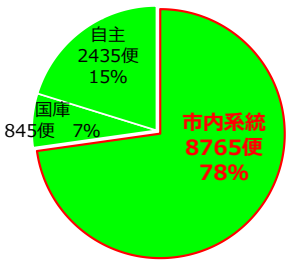
自主系統 ： 国庫系統・市内系統以外で事業者が自主的に運行する系統



全系統の総便数 218,465便／年 の内訳



乗車人数が１人未満の便



	総便数	3人以上の便	3～2人の便	2～1人の便	1～0人の便
国庫系統	69,900	62,870	3,635	2,550	845
市内系統	73,925	49,850	9,475	5,835	8,765
自主系統	74,640	67,720	2,540	1,945	2,435
計	218,465	180,440	15,650	10,330	12,045

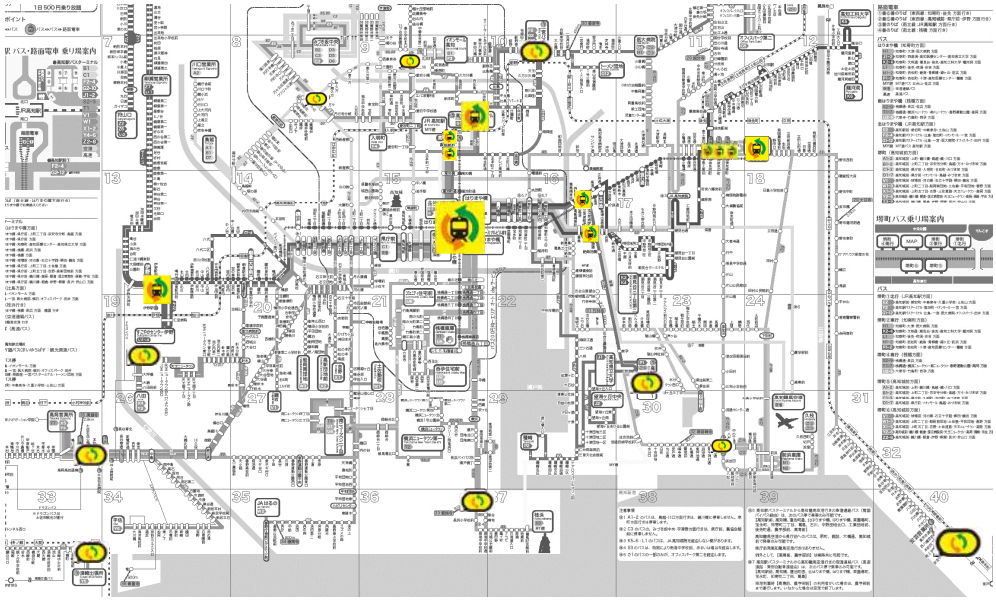
“乗車人数が１人未満の便”は市内系統が多い。
利用の少ない便は、減便などの対策が必要。

事業10　運行ﾀﾞｲﾔ・運行便数・運賃等の見直し

バス路線再編は，各拠点での乗り継ぎが前提となるため，利用者が抵抗を感じることのないような運賃体系の見直しが必要

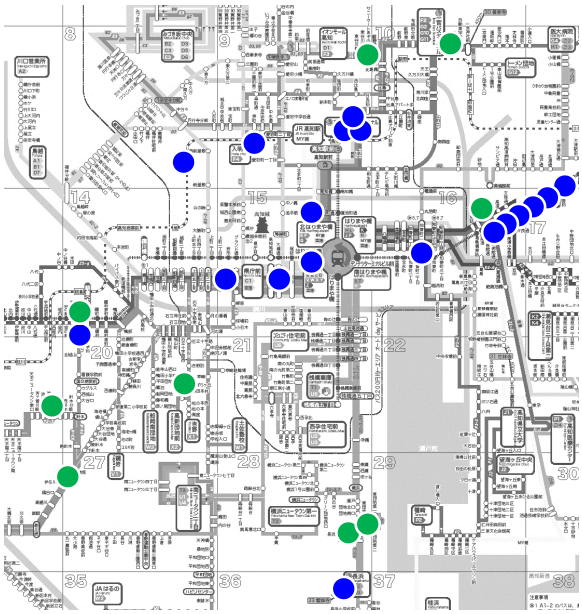
⇒ シンプルで分かりやすい運賃体系と割引サービスの導入

乗継割引ポイント
はりまや橋
高知駅
宗安寺分岐
美術館通
高知医療センター
中秦泉寺
長浜
一宮
安芸
後免
浜改田
伊野駅
梅の木（いの天王
土佐市
須崎



事業11　サイクルアンドライドの推進

・自転車と公共交通のベストミックスを創出し、公共交通の利用促進
・利用の多い鉄道駅、電停、バス停付近を中心に駐輪場を整備
・民有地を活用したサイクルアンドショップライド



サイクルアンドライド
高知駅東駐輪場
高知駅西駐輪場
高知駅南簡易駐輪場
高知駅北簡易駐輪場
円行寺口駅簡易駐輪場
入明駅簡易駐輪場
朝倉駅簡易駐輪場
新京橋プラザ駐輪場
升形北簡易駐輪場
大橋通南簡易駐輪場
美術館通簡易駐輪場
文殊通簡易駐輪場
高須簡易駐輪場
西高須簡易駐輪場
鹿児簡易駐輪場
領石通簡易駐輪場
知寄町3丁目簡易駐輪場
長浜営業所駐輪場
サイクルアンドショップライド
A★MAX　一宮店
エースワン朝倉店
サニーマート高須店
サニーマート瀬戸店
サニーマートあぞの店
サニーマート神田店
サンシャインヴィアン店
サンシャイン弘岡店
サンシャイン針木店

＜ＪＲ朝倉駅駐輪場＞

＜領石通電停駐輪場＞

サニーマート瀬戸店

事業12　パークアンドライドの推進

・公有地の大規模なパークアンドライドが規模縮小するため、今後は民有地を活用した小規模なパークアンドライドを検討

H28年度 部分休止

＜県立美術館通＞

新設

H28.7 代替地（69台）

＜知寄町＞

H28.9廃止

＜一宮五台山＞

新設

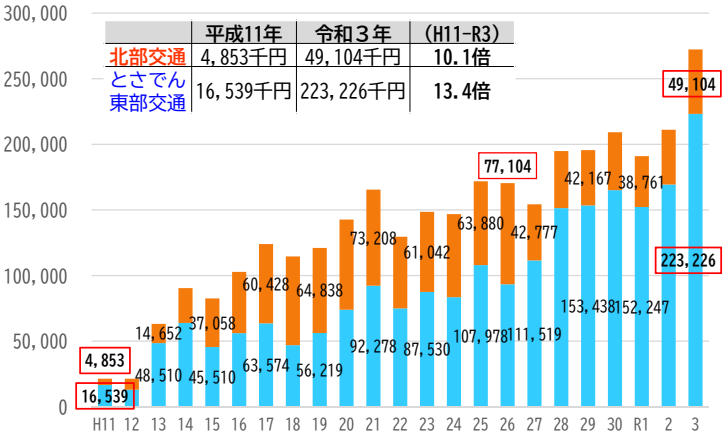
H28.10 代替地（31台）

＜桟橋（高速バス)＞

＜ファミリーマート高知横浜店＞

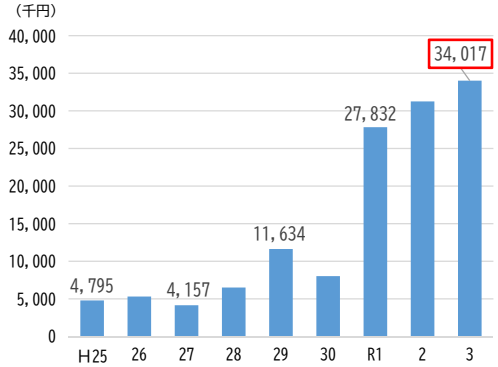
事業13　バス路線の確保･維持

・市内中心部や周辺市街地を運行する「生活路線バス」の運行費補助金額は、平成11年度から令和３年度までに約13.4倍増加。
・鏡・土佐山を運行する「廃止路線代替バス」の運行費補助金額は、平成26年度には77,104千円まで増加し、その後、デマンド型乗合タクシーの導入とバス路線の退出が進み、令和３年度は49,104千円まで減少



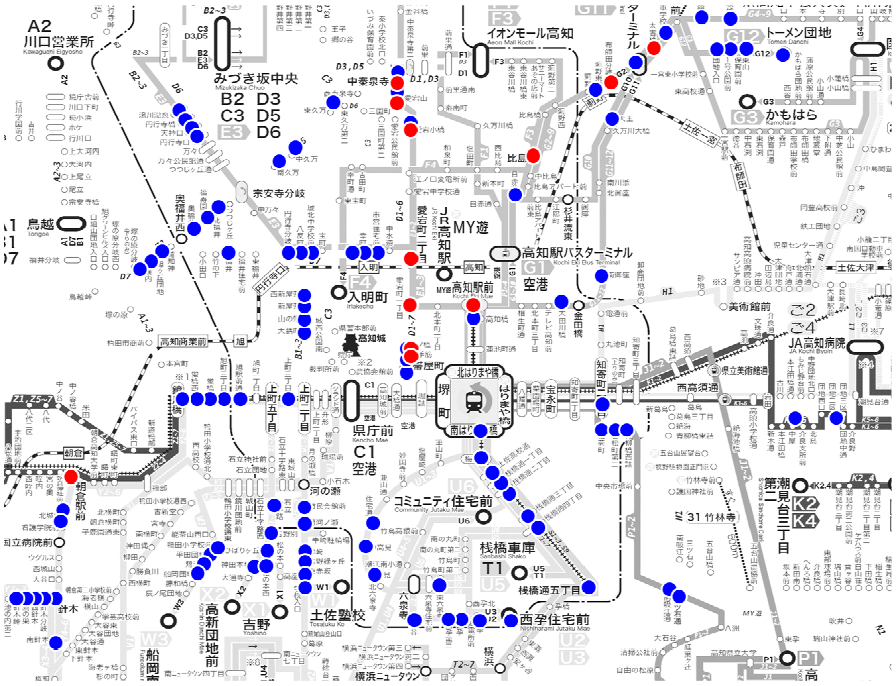
事業14　乗合タクシーの確保･維持

・周辺部でバス路線が廃止され、その代替交通としてデマンド型乗合タクシーを導入。
・運行費補助金は平成25年度の約480万円から、令和３年度の約3,400万円まで７倍増加。



事業15　バス停・電停等の利用環境の改善

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
整備箇所	13	13	13	34	8	43	-	20	16
整備個数	18	16	18	50	15	54	-	24	23



事業16　バス車両・電車車両の改善

とさでん交通

県交北部交通

保有車両数

		H26.10	H27.10	H28.10	H29.10	H30.10	R元.10	R2.6
とさでん交通	（車両数）	146	146	141	134	127	124	119両
	（低床バス）	45	50	56	61	68	73	69両
北部交通	（車両数）	16	17	18	18	15	15	15両
	（低床バス）	1	2	3	3	3	3	3両

新規購入

H27年度	とさでん交通	5両
	県交北部交通	1両
H28年度	とさでん交通	6両
	県交北部交通	1両
H29年度	とさでん交通	5両
	県交北部交通	―
H30年度	とさでん交通	7両
	県交北部交通	―
R元年度	とさでん交通	4両
	県交北部交通	―

とさでん交通

H29年度　低床電車導入1両

R2年度　低床電車導入1両

事業17 「ですか」による多様なサービスの提供

プレゼントキャンペーン

ですかキャンペーン

運転免許自主返納支援事業

※令和2年度実施中事業

「ですか」発行枚数の推移

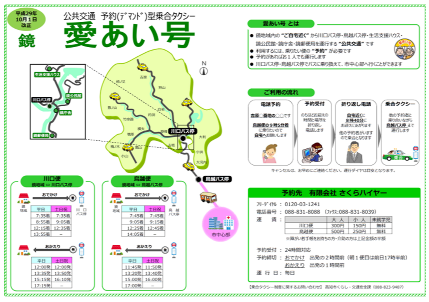
○年別有効発行枚数推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
大人無記名	21,619	7,893	3,626	2,385	2,903	1,849	1,700	1,753	1,858	2,860	1,916
大人記名	17,045	3,732	3,476	3,345	2,933	2,738	2,822	2,719	2,563	2,417	2,587
小児記名	1,872	680	316	257	163	165	166	175	214	124	158
ナイスエイジ	8,336	1,834	964	690	582	1,085	1,040	1,388	765	690	695
大人身障	1,731	431	355	262	213	206	490	573	327	337	360
小児身障	11	7	0	3	5	7	4	0	6	−2	3
身障介護	98	25	16	12	16	2	9	14	10	14	13
計	50,712	14,602	8,753	6,954	6,815	6,052	6,231	6,622	5,743	6,440	5,732
累計	50,712	65,314	74,067	81,021	87,836	93,888	100,119	106,741	112,484	118,924	124,656

R元.12現在

事業18 分かりやすい情報サービスの提供

■乗合タクシーリーフフレット
（地域へ全戸配付）



■バスマップやオトク情報をポスティング

■バスこっち

■小学生向けバスマップ配布（春野東小）

事業19　イベント等による広報活動

交通安全ひろば

イルミネーション電車2018

交通安全ひろば

トリプルクロス(路面電車)

電車とバスで高知をうろちょろ！